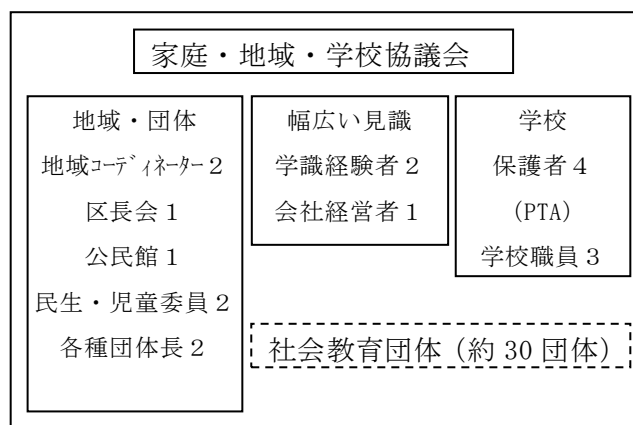


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

- 第1回<6月上旬>
- ・家庭・地域・学校協議会の趣旨説明
 - ・令和元年度スクールプランの説明
 - ・学校の取り組みに対する提言
- 第2回<10月下旬>
- ・授業参観 ・学校給食の試食
 - ・取り組み状況報告
 - ・ボランティア活動の状況の確認
- 第3回<2月上旬>
- ・取り組みのまとめ(評価結果)
 - ・学校の考えや取り組みに対する提言
- 次年度の支援依頼

(3) 協議会における成果と課題

地域で活躍されている家庭・地域・学校協議会委員に、地域の行事に参加する児童の様子や登下校の様子を意識的に見ていただくことで、児童についての的確な意見を得られた。

今後、児童数・教員数の減少と指導者の高齢化により、今までと同じような活動を実施することが困難になることが予想される。内容の精選と若手指導者の確保をすすめたい。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

河和田地区の宝を確認するとともに、河和田地区の課題を改善する様々な体験学習(ふろさと学習)を実施することで、地域に愛着をもち、主体的に行動する児童を育てていく。

(2) 活動の実際

①河和田地区の交通状況を調べよう ～安全ボーイ&ガール作り～

河和田地区にある県道は交通量が多く、旧道は狭く見通しが悪くそれぞれ危険である。毎年、町内の交通状況を調べ新たな危険箇所を把握している。また今年は保護者からガールもあつた方がよいとの意見も出されたので、安全ガールを設置する運びとなった。このような親子による活動を継続することで交通安全への認識が一層深まり、ここ数年間事故0を継続している。また安全ボーイ&ガールの設置だけでなく、他の取組を話し合った結果通学路の各交差点付近の路上に「とまれマーキング」を設置することが提案され、PTAや地域区長会の協力を得て、今年新たに約80カ所にペイントした。このような地域を挙げての交通安全への取り組みは危険箇所の把握に努めながら、交通安全への意識を啓蒙する良い機会として今後も徐々に拡大していく予定である。ちなみに「とまれマーキング」については、通学



路全体で約150カ所に設置する計画で進められている。今後も交通事故0継続に向け、取り組んでいく。

②河和田の宝発見

河和田を知り、河和田を好きになることを目的とし、PTAや地域と一体となり体験活動を行っている。蒔絵教室では、地元の漆器業の方々から指導を受け、個性あふれる



Myカップを作った。また、ふれあいオープンスクールで、地域の方が講師となり「めざせ！めがねデザイナー」などのコーナーで体験活動を行った。これらの活動を通して、河和田地区の一員としての誇りを持ち、大人になっても住み続けたい河和田の宝として育てている。

(3) 地域コーディネーターの活動概要

河和田地区と河和田小学校が協力して実施するふれあいオープンスクールや河和田漆器と深い関わりのある蒔絵教室で、体験活動のコーディネーターとして、地域と学校との連携を図っている。また安全ボーイガール作りで保護者や地域と学校との連携を図った。

(4) 特に工夫した事項

- ・地域の課題を学校の課題としてとらえ、地域と学校が協力し、その課題解決のために必要な活動を考え、取り組んだ。
- ・今まで実施している体験活動を生かし、この事業に関連させ、ねらいが達成できるように取り組んだ。

(5) 成果と課題

地域とともに進める体験活動を通して、ふるさとに自信と誇りを持ち「河和田が好きだ」と考える子どもが増えている。また、地域の方々もコーナーの講師を務めていくことで、地域の子どもの理解し、地域の教育力を高めている。

さらに、安全ボーイ作りを通して、地域との関わりを深め、地域のことを考えるよい機会となり、設置されている安全ボーイガールを目にして交通安全を意識づけている。

今後も地域の協力を得ながら、河和田を知り、河和田を好きになるための体験活動を継続していきたい。